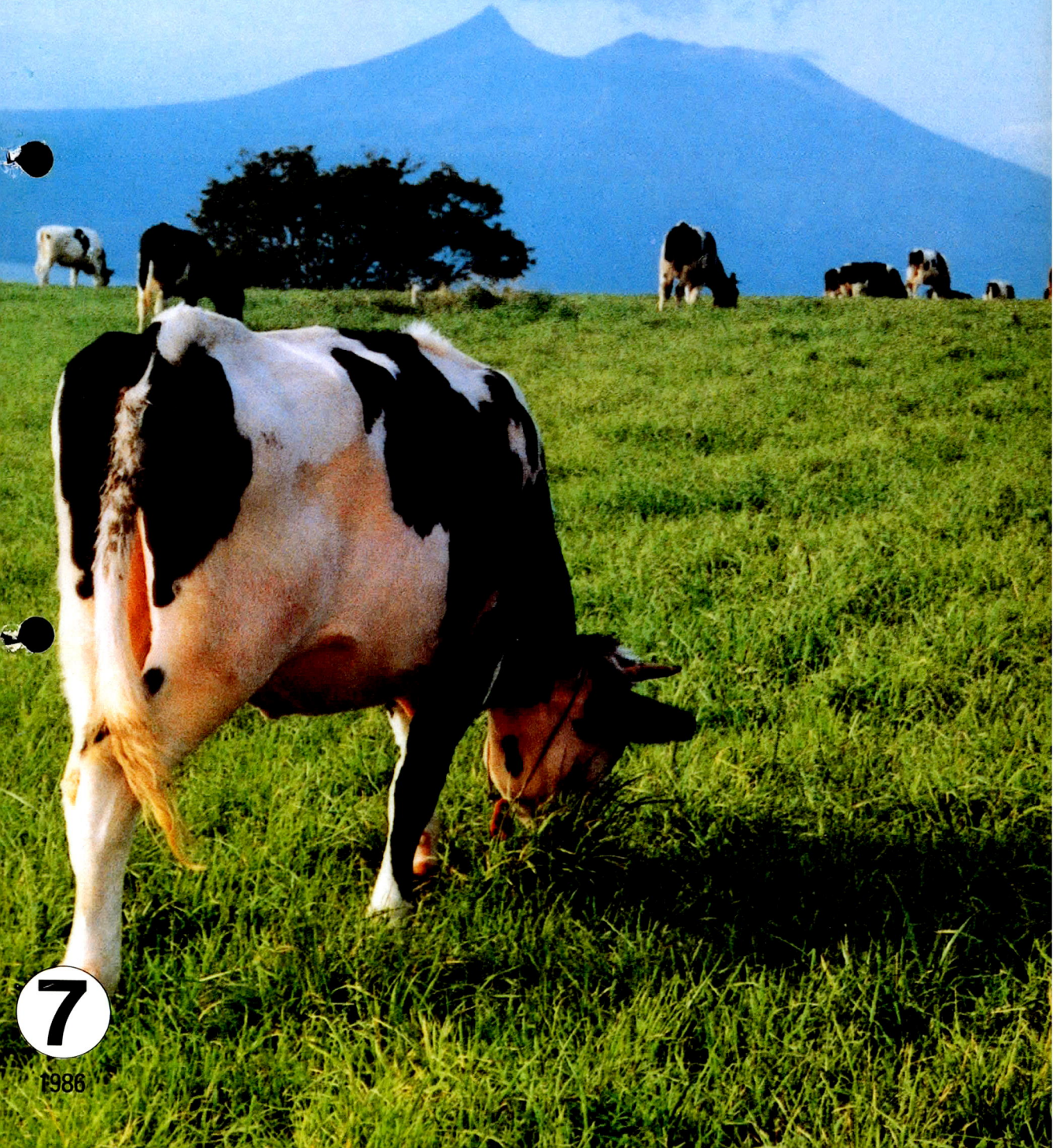


第34卷・第7号 昭和28年5月15日第三種郵便物認可

昭和61年7月1日（毎月1回1日発行）

牧草と園藝



7

1986

公共育成牧場の経営管理指導

この春、5か年間にわたる調査検討を経て、「中核公共育成牧場の経営分析と管理指標」(草その情報, 特号, 1986, 3) が公けにされ、そのなかで、公共育成牧場の経営管理指標として、次の項目が示された。

- ①草生産量 (t/ha)
- ②牧養力 (延放牧飼養頭数/草地利用面積)
- ③平均操業度 (全体, %)
- ④預託料金 (円/頭・日)
- ⑤草地資本投下額 (事業費/草地造成面積)
- ⑥事業収入 (事業収入/延預託頭数)
- ⑦事業費用 (事業費用/延預託頭数)
- ⑧事業収益係数 (事業費用/事業収入×100 円)

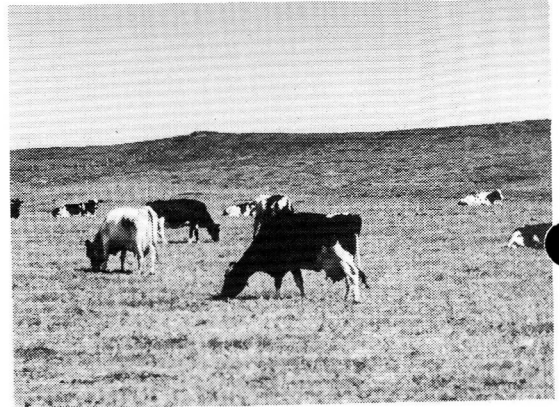
ここで選択したそれぞれの指標は、①と②は草地の生産力を示す指標として草生産量とそれを効率的に利用しているかどうかを牧養力で表わすものであり、③は牧場の規模を操業度の割合で示し、牧場のもつ規模が十分生かされているかどうかの一つの判断指標として選択した。④は牧場収益の源泉である預託料金を示し、⑤は資本集約度を示し、⑥～⑧は損益と収益性を示す指標としてそれぞれ選択したものである。

酪農・畜産を取巻く諸情勢が厳しい中において、公共育成牧場の効率的な利用は、個々の経営の発展と安定に資するところ大きいと考えられるだけに、牧場の望ましい管理運営はいかにあるべきかは重要な問題である。

上記の経営管理指標項目を、それぞれの牧場で考える上の参考として、既にある北海道の「公共育成牧場の経営指標」(北海道酪農草地課, 1981) をまとめてみた。(解説は省略)

第 I 牧場規模についての指標

1 土地基盤についての指標



草地面積：300～800 ha
改良草地面積率：60%以上
採草地傾斜度：12度以下
基地から採草地までの距離：3 km 以下

2 預託利用についての指標

放牧預託期間：140 日以上
舎飼預託期間：225 日以下
1 ha 当り牧養頭数：1.1 頭以上
〔(放牧延頭数+舎飼延頭数)÷365〕÷草地面積〕

3 資本装備と従事者についての指標

1 ha 当り土地投資額：90 万円以下
〔(道路整備費+草地造成費)÷草地面積〕
1 ha 当り草地機械投資額：12 万円以下
〔(草地維持管理機械+飼料生産調製機械)÷草地面積〕
1 頭当り施設投資額：放牧 12 万円以下
〔(隔障物+雑用水施設)÷放牧頭数〕
1 頭当り施設投資額：舎飼 80 万円以下
〔(畜舎+サイロ+パドック+糞尿槽)÷舎飼頭数〕
1 人当り草地面積：50 ha 以上
〔草地面積÷(職員数+夏季長期雇用数)〕

(表紙③へ続く)